

要請番号 (JL52417A04)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
マラウイ	C103 野菜栽培		個別	新規	2年	・ 2017/3 ・ 2018/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

農業・灌漑・水開発省

2) 配属機関名 (日本語)

サリマ県農業開発事務所

3) 任地 (サリマ県サリマ) JICA事務所の所在地 (リロングウェ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで 約 2.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

農業・灌漑・水開発省は全国に8つの農業開発局、各県に農業開発事務所、その傘下に農業普及所を配置し、農民に対する技術支援を行っている。サリマ県農業開発事務所の業務は多岐に及び、食用作物、家畜、養殖・漁業、土地資源、灌漑、アグリビジネス・普及等の部門に分かれ、7つの農業普及所を管轄している。農業普及所では普及員がセクションと呼ばれる担当地域の農家に対し農業に関する技術指導を行っている。年間予算は約37,000USDである。直近では2013年まで家畜飼育のJVが派遣されていた。配属先長も日本の茨城県つくば市でJICAの本邦研修を受けた経験がある。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

当国では総労働人口の8割が農業に従事し、農業総生産の9割は小規模農家が担っている。貧困層人口の8割が農村部で生活をしており、農業・農村開発は国家中期開発計画の最大優先課題の一つに位置付けられている。任地はマラウイ湖西部に位置しており、漁業が盛んな地域の1つでもある。しかし、湖から離れたエリアでは、生活を農業に頼らざるを得ない状況にあり、農業を通じた生計向上が求められる。JVは同僚にあたる主に園芸作物担当官やアグリビジネス担当官、また傘下組織にあたる農業普及所の普及員などと協働しながら、野菜を栽培するところから、収入向上のために販路拡大をサポートするなどのアグリビジネスに係るところまでの一連の農家の仕事を支援し、その中で日本で培った知識や経験を関係者に共有することが求められ同要請へと至った。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

1. 農家を巡回し課題を把握する。
 2. 野菜栽培の一連の仕事をサポート(トマト、キャベツ、白菜、その他葉物野菜等)。
 3. 農家経営に関する助言・サポート(販路拡大、マーケットニーズの把握等)
 4. 上記1から3、その他必要な支援を通して、収穫量の向上や収入向上などを旨とする。
- ※同県の農業試験場からもJVの要請があり、同時期に派遣された場合、情報共有など緩やかな連携が期待される。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

特になし

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先長 男性 50代
同僚テクニカルオフィサー 15名 20-40代 大卒程度
サポートスタッフ 20名
※必ずしも常に同僚と一緒に巡回などの活動が出来るわけではない。

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

英語(レベル:B)

【資格条件等】

[免許]：（ ）

[学歴]：（大卒）農学 備考：同僚とのバランス

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（実務経験）2年以上 備考：実践的なサポートが求められる

任地での乗物利用の必要性

単車(小型自動二輪免許が必要)

【地域概況】

[気候]：（温暖冬季少雨気候） 気温：（10～30℃位） [電気]：（不安定）

[通信]：（インターネット可 電話可） [水道]：（不安定）

【特記事項】

明るく積極的に人と関われ、指示を待つのではなく、自ら行動、提案できるような人は向いていると思われる。